

第42回全日本小学生バンドフェスティバル東北大会



▲演奏直後の記念撮影。この時点で誰も全国大会出場を予想すらしていなかった



▲最後まで必死に演奏・演技する団員たち

感動した!!

金賞 全国大会 推薦

6年ぶり!

鵜飼小学校吹奏楽団

第42回全日本小学生バンドフェスティバル東北大会は10月1日、青森県のマエダアリーナで開かれ、東北6県から23団体が出場した。
9団体が金賞に輝き、鵜飼小含む4団体が東北代表として全国大会への出場を決めた。全国大会は、11月18日に大阪市の大坂城ホールにて開かれる。

新入団員17人からのスタート

前回の全国大会出場時の団員は48名。その後、鵜飼小の約3分の1が滝沢中央小学校の学区となり、団員が減少。その頃から、4年生以上としていた団員募集を3年生以上に引き下げて、団員確保に努めた。そしてコロナ禍。団員は昨年24名まで減少した。と同時に過去に鵜飼小学校に勤務経験のある味山滋教諭が赴任。厳しくも子どもたちを一番に考える指導で、演目内容も一変。身近な題材を演目に取り入れることにより子どもたちの関心をひき、今年度の新入団員は17名。全団員31名の半数以上が、経験なしの新入団員。中でも3年生が最多学年という波乱のスタートだった。

離航する

新入団員の指導

17人の新入団員に対し、6年生はたった7人。全てのパートに6年生が入ることはできなかった。1学期は練習中も遊び出してしまう団員に、パートリーダーの6年生は頭を抱えていた。マーチングの動きを指導する先生方も必死。果たして大会曲は完成するのか。

目に見えた上達ぶり

過酷な暑さの夏休み練習が終わった頃、大会曲が完成。進化が見えてきた。
夏休み明けの県大会動画撮影日。一発収録だったため、課題の残る演奏となった。そこから毎週のように運動会・地域イベント・マーチングパトフェスティバルのオーブン参加など、観客に聞いていただく経験を経て、団員たちは1週間ごとに進化を遂げていた。本番前日も、遠征先の青森市東部市民センターにて夕方まで練習に励んだ。

<寄付の受付先>

①鵜飼小学校 職員室窓口
…現金のみ承ります。

②お振込み
ゆうちょ銀行
02290-2-136689
鵜飼小学校吹奏楽団全国大会寄付会

ご寄付のお願い

6年ぶりかつ、予想外の全国大会出場ということで、当時の先生方は誰も残っておらず、ノウハウを持つていない方がいない中での出場となります。全てのことに手探り状態ですが、莫大な経費がかかることは確実です。
団員の家庭からの負担で賄える額ではないため、不躰ながら吹奏楽団を応援していただく方々からのご支援を賜りたいと存じます。
「寄付をいただいた企業様・団体様」には、2月に行われるたびだちコンサートパンフレット等にてご紹介させていただきます。

そして東北大会

団員たちは全力を出し切ったものの、上位校との実力差を実感しており、団長ですら表彰式前の昼食時の挨拶で、「全国大会には行けません…」と口走った。
ところが表彰式にて結果は、金賞・全国大会決定! 常連校が多い中、鵜飼の全国推薦に会場はどよめいた。



▲演奏を支えた7名の6年生